

女性委員会だより

～秋田県建築士会 H30 年度活動報告～



東北ブロック会女性委員会みやぎ大会に参加して

大館北秋田建築士会

藤嶋 秀美

9月1～2日に平成30年度東北ブロック会女性委員会みやぎ大会が開催され、秋田県からは13名参加致しました。

1日目は東北大学片平キャンパスの見学。昼食は大学内のレストランでランチを頂きました。野菜の彩がキレイで栄養バランスのとれたヘルシーなランチはとても美味しかったです。午後は基調講演と各建築士会の事例発表がありました。古き良き建物を存続させるだけでなく人とのつながりを強くし、来世へ伝える取り組みに感動しました。

宿泊会場に移動し懇親会にて各県5分程度の余興をやる事になっていたのですが、さすが芸達者な秋田。この余興のために入念なシナリオ、コスチュームまで考え8月に全国に感動を与えてくれた金足農業高校の栄光をたたえる内容をお披露目する事としました。事前に2～3度の練習のみで本番に望み、

頭にロゴ入りハチマキ、文字を入れたウチワを刀に見立て「シャキーン」と侍ポーズも決まり秋田県民歌をのけぞりポーズで歌い切りました。他の建築士会員はあまりのパフォーマンスに「あ然！」の後拍手で喜んでくれました。今回この余興をやった事で、益々秋田の女性委員会の絆が深まった気がします。

2日目は塩竈の街並みを見学しました。震災でご苦労なさった後でも古い建物を自分達なりに保存するための努力の形が建物を通して、又案内して下さったガイドさんの話を通じて感じる事が出来ました。

心温まる見学を終えとても内容の充実した大会に参加でき改めて今自分にできる事を行動に移すきっかけづくりになりました。楽しい2日間ありがとうございました。



親子体験学習～IN 遊学舎

秋田中央建築士会

樋渡 博子

女性委員会主催「気持ちのいい家作ろう」の開催は秋田中央支部の当番にて、秋田市遊学舎で行われました。私自身は3度目の参加でした。10組の参加募集に対し、きっちりと10組の応募でめでたく開催当日を迎えました。

当日は天候に恵まれ資材搬入等もスムーズに進み好調なスタートでした。チームワークも最高で昼前には搬入・会場設定とも問題なく完了し、あとは弁当とお客様を待つのみとなりました。自分の担当する親子はどんなだろうかと気になる中でのご来場で、二人の男の子（8歳と5歳）とそのお母さんの3名様にてよ～いドンです。

お母さんは子供に決定権を与え自分は傍観者を装っていました。私はというと、どこまで介入

していいのか私の一言に大きく共鳴して私の作品にならないようにとても気を使いました。時間の経過とともに変わってきたのは弟君でした。お兄ちゃんの製作途中の段ボールハウスに入り込みそこそこの破壊力を発揮するようになり、お母さんも手に負えずじまい、しかしながらお兄ちゃんの制御がほどよく効いていて感心しました。でもそれもつかの間で暴れん坊将軍になったところで“オヤツタイム”に突入してあっという間に借りてきた猫に大変身！私自身、男の子の育児経験が無く暴れん坊ぶりにはたまげました。

一服（オヤツタイム）終了後は追い込みに入り、ちょっと焦りも感じられるくらいで、そんな中でお母さんの参戦となりました。自分も少し参加

の形を加えたいと、お兄ちゃんに断ってからカーテン製作に入りました。材種と工法をお兄ちゃんの許可を得てからの参戦で、子供に主導権をあげているからだな～と若いお母さんに感銘いたしました。

完成したお家は他のチーム(親子)の物件とは見劣りするような大雑把なつくりで、建築屋(私)としての助言や自分のセンスの無さが映し出さ

れたようで恥ずかしいと思いましたが、お母さん・子供たちが、作ることの楽しさと自分たちで作ったことの喜び、そして子供に初めてカッターを使わせた緊張感を私達に話してくれたことが恥ずかしい気持ちを吹き飛ばしてくれて、私にとっても、気持ちのいい体験学習(補助員)となりました。



第1回学習会 「秋田の民俗建築～山の神はなせ女神カ」学習会に参加して

湯沢雄勝建築士会 佐藤 全子

日本民俗経済学会理事、秋田県民俗学会副会長であり、著書多数で、講演会、テレビ出演等幅広く活躍されている齊藤 壽胤(さいとう・じゅいん)先生のお話しは、とてもおもしろく、ためになり、興味深い物でした。普段使っている言葉でも、語源をたどると民俗学に関係しているということが今更のように理解できました。

例えば秋田県では、人が驚くことを、タマゲル、タマゲタと言いますが、それを漢字で書くと、「魂消る」になるそうです。びっくりすることによって体から魂が飛び出し放心状態になることを意味したそうです。しゃっくりを止める方法の一つに驚かすということがよく言われますが、しゃっくりという何か得体のしれないもの依り憑いたならば、それを振り祓う、魂と一緒に放心させてしまうという意味があったのではないかと先生は述べていらっしゃいます。

私たち建築に携っている者にしてみると、昔から山の神は、上棟式に必ずおもちをお供えしていたので、建築には欠かせない存在だという認識は持っていました。

先生は、この度その山の神にまつわる古くからの各地に伝わる民話にも触れられておりました。その中で、建築の現場は神聖なもので、女性が不浄なものと思われていた時代でしたので、女性がその設計や、施工に口を出したり参加することは、タブー視されていたわけですが、二つほどの例の中で、その話に出てくる女性が、父親や、夫からやむなく殺されてしまう、その女性たちを供養し、

そして山の神の怒りをかわないように、お面に扇を掛けて室内の床の間や高い位置に丁寧に飾られた話は、私たち女性委員が固唾をのんで聞き入ったところでした。

先生によると山の神は女性で嫉妬深いため、女性は遠ざけられたということです。そういえば、昔から自分の奥さんのことを家の山の神などという世の亭主族が、かつていましたよね。最近はあまり言いませんが。

あと逸話の中で、ご主人が、山に木を切りに行くのに、体をきれいにし、特に足もとまで洗っていくので、これは怪しい、絶対浮気でもしているに違いないと奥さんが後をつけていくと、がけっぷちの木を切ろうとしているところを、ある女性がその男性の足元を一生懸命捕まえているところを見つけてしまいます。そして嫉妬の気持ちで狂わんばかりにその様子を見ていた奥さんに気づき、その女性は、両手をぱっと離してしまい、男性は谷底に落ちて死んでしまうという話でした。死んだ男性は山の神に守られていたのに、嫉妬深い奥さんのせいで死んだという話でした。山の神の壮絶なまでの力を見せつけられたお話でした。

先生のお話を聞いて、日本は、山の神だけではなく、森羅万象様々な神によって見守られ、人々も畏敬の念を持ち、つつましく、移り変わる四季ごとにその生活を一生懸命、生きてきたんだなあ、感慨深いものがありました。

第28回全国女性建築士連絡協議会（高知）に参加して

秋田中央建築士会 佐藤 栄子

今年の全国女性建築士連絡協議会は、行った事のない四国高知。飛行機の乗り継ぎもあり、尻込みした気持ちにもなったが、滅多にこんな機会もないので、参加することにした。飛行機を降りると、目の前は田園風景の田舎の風景そのもの、秋田の風景とあまり変わりなかった。しかし、市街に入ると一変、駅ではアンパンマン（作者が高知

出身）の電車が迎えてくれ、ほほえましく感じると同時に何か秋田とは違う街並み、人の賑やかな往来があった。（高知市の人口は、30万人程で秋田市とあまり変わらない。）また、南国土佐の文化、歴史に振れ学ぶことが多く、大変魅力ある高知県と感じた。



第3回学習会 「ポーセラーツ製作」学習会に参加して

大館北秋田建築士会 柳谷 節子

30年度の新年会を兼ねた学習会はポーセラーツ白磁（ポーセリング）に転写紙（シール）を貼り付けて800℃で焼成する磁器作品の仕上げです。講師は松岡智子さん。日々のバーチャル仕事から解放され、30名の会員が一心不乱でカジュアルアートの手仕事を楽しみました。今回の参加者は20代から70代の年齢層に会員のお子様も数人加わってほほえましい雰囲気でも時間もあっという間に過ぎ

てしまいました。皆さんお茶で一息の時間も惜しんで貼り付けたそれぞれの彩りやデザインの作品に感嘆。お子様方も友達と打ち解け手をつないで遊べる時間を満喫。

皆さん、焼成した作品がお手元に届きましたら、女性委員会のこの日の楽しいひとときを思い出してお使い下さい。



秋田中央

地域会の活動

大館北秋田

東京大学の鎌田実先生を講師に「長寿社会のまちづくり」東京大学の鎌田実先生を講師に「長寿社会のまちづくり」と題してお話を伺いました。自分の10年後を考えるよいきっかけになりました。



久々のお泊まり。1泊2日で11月10日(土)11日(日)研修旅行に出かけました。2日間とても有意義でも楽しかったです。参加しないと良さが分かりません。まずは、いろんな行事に参加して楽しみましょう。仲間っていいなあ。

平成30年11月3日に由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館へ見学に行ってきました。建物は使ってこそ！子供達が使っていた学校を子供達が遊べる場所として使用していく。良い活用だと思いました。そして、子供連れでも活動できる女性委員会ありがたいと思います。

由利

11月11日に山形県天童市で開催された第1回建築女性フォーラム「常安寺五重塔見学と五日町散策」に参加してきました。2019年3月から工事を再開し8月には完成するそうです。

完成した高さ32.7mの五重塔を見たいと思いました。



仙北



青年部に便乗し2月15日～16日お城山にてかまくらまつりのおもてなし隊を行いました。青年部は事前準備やミニかまくら作り、当日は裏方の作業と大忙しの中、女性陣はかまくらの中で観光客の皆様へのおもてなしをするという連体形です。女性でまとまった活動が行えない中でこのような機会を与えて下さった青年部の皆様に感謝し、今後も一緒に協力して行きたい地域貢献の活動です。

横手



9月30日、市内にある国登録有形文化財「山内家住宅」の一般公開に、湯沢市より建築士会へボランティアの協力依頼があり参加してきました。観光ガイドの会の皆さんと見学に訪れた方に建物の特長や建築当時の歴史的背景等の説明を行いました。ガイドの会の皆さんとの協力は、学ぶことが沢山あり良い経験になりました。

湯沢雄勝

H30年度 活動内容一覧

- 4月 第1回東北ブロック会女性委員会(委員長会議)
(仙台市)
- 6月 第1回幹事会・平成30年度女性委員会会議
第1回学習会
「秋田の民俗建築～山の神はなぜ女神か」
意見交換会
- 7月 全国女性建築士連絡協議会 (高知県)

- 9月 東北ブロック会女性委員会みやぎ大会
(委員長会議) (宮城県)
- 9月 第2回学習会
親子体験学習「気持ちのいい家をつくろう」
(秋田市)
- 10月 建築士会全国大会 埼玉大会(女性委員会セッション)
- 2月 第2回幹事会
第3回学習会「ポーセラーツ製作」・意見交換

編後記

H30年度も活発な活動ができたんじゃないかな～と思っています。これも皆様のご協力のお陰です。次年度もたくさん楽しいこと、勉強になることを企画していきましょう！参加をお待ちしています。 by 秋田中央 伊藤加久子

会員数66名(31年3月現在)

『女性委員会だより』発行：平成31年3月 発行者：一般社団法人秋田県建築士会 女性委員会